

| | | | | | |
|----|-------|----|------|----|----|
| 氏名 | 横溝 彰彦 | 所属 | 一般文科 | 職位 | 教授 |
|----|-------|----|------|----|----|

| 職務 | 項目例 | 割合【%】 | | 活動内容 |
|-----------|--|-------|----|--|
| | | 計画 | 実績 | |
| 教育 | 授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など | 計画 | 40 | 1. 前期と後期それぞれに、本科の一般科目4科目と専攻科1科目の授業を行う。 2. 授業で、学生が英語を話す活動を増やす。 |
| | | 実績 | | |
| 研究 | 自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など | 計画 | 10 | 1. 校費で異文化コミュニケーション教育に関する研究を進める。 2. 科研費への申請を行う。 |
| | | 実績 | | |
| 学生生活指導 | 学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など | 計画 | 25 | 1. 寮務主事補として、寮生の生活指導を行う。 2. 卓球部代表顧問として、事務手続きおよび部員の活動指導を行う。 3. 英会話部顧問として、部員の活動指導を行う。 |
| | | 実績 | | |
| 校務 / 管理運営 | 主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など | 計画 | 20 | 1. 寮務主事補として、寮運営に関わる校務を担う。 |
| | | 実績 | | |
| 社会活動 | 学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など | 計画 | 5 | 1. 日本コミュニケーション学会副広報局長として、学会ホームページの運営を行う。 2. 例年どおり依頼があれば、英語スピーチコンテストの審査員を務める。□ |
| | | 実績 | | |

教員業務内容報告書

| 報告者氏名 | | 横溝 彰彦 | | 所属 | 文科 | 職位 | 教授 | 報告年度 | 令和5年度 |
|---------|-------|---|--|-------|---|----|---|------|-------|
| 分野 | 計画 | | | 実績 | | | 記載事項例 | | |
| | エフォート | 内容 | | エフォート | 内容(計画からの変更点) | | | | |
| 教育 | 40 | 担当科目 英語1(4単位、1クラス担当) 英語3(4単位、2クラス担当) 応用英語1(2単位、1クラス担当) 応用英語2(2単位、2クラス担当) リベラルアーツ特論1(1単位、1クラス担当) リベラルアーツ特論2(1単位、1クラス担当) 実践英語 I (2単位、1クラス担当) 英語の授業では、語彙力の増強およびICTの活用、多読の導入に力を入れる。 | | 50 | 単語帳やe-learningを活用して、語彙力増強を行った。上級生の授業では、授業で多読の時間を設定し、平易な英文を読むことへの心理的な障壁を軽減させた。 | | 担当科目名・ 単位数 卒業研究・ 専攻科研究指 導学生数 教育方法改善 内容 | | |
| 研究 | 20 | 昨年度学会発表を行った異文化コミュニケーション教育に関する研究内容を論文化し、学会誌に投稿する。 | | 10 | 現在、当該論文を執筆中。 | | 論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金 | | |
| 学生生活指導 | 5 | 英会話部顧問 卓球部顧問 | | 5 | 卓球部顧問として、大会や練習試合の引率を行った。 | | クラブ顧問 コンテスト指導 | | |
| 校務・管理運営 | 30 | 担任 英語科主任 厚生補導委員会委員 | | 30 | 担任として、学生の生活・学習指導を行った。英語科主任として、本校一般教育の英語授業に係る業務を行った。厚生補導委員として、学生の賞罰に係る業務等を行った。 | | 主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員 | | |
| 社会活動 | 5 | 所属学会 日本コミュニケーション学会 National Communication Association 全国高専英語教育学会 日本ESD学会 例年どおり依頼があれば、英語スピーチコンテストの審査員を務める。 | | 5 | 福岡市中学生英語スピーチコンテストで審査員を務めた。 | | 所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動 | | |

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。